

# Commvault for Amazon Web Services

## ハイライト

- エージェントレス、エージェント、スナップショットなど複数のバックアップ手法でAWSのネイティブ ワークロードを保護
- アプリケーションと整合性のあるインスタンスレベルのバックアップ
- オンプレミスや他のクラウドからAWSへのワークロードの移行と変換を加速
- データの重複排除と圧縮、自動電源管理による大幅なコスト削減
- AWSへの/AWSからの、フェイルオーバーとフェイルバックをサポートしたディザスタ リカバリ
- S3オブジェクト ロックおよびボールド ロックを使用した書き込み専用メディアでランサムウェア対策
- AWS Outposts (EC2) とAWS Snowball をサポートし、サービスをデータセンターに拡張

## 概要

AWS は市場をリードするパブリック クラウド環境を提供しており、柔軟性、拡張性、回復力に優れたワークロードを実行するために理想的な環境です。Commvault は、お客様のデータ管理ソリューションは、オンプレミスのソリューションで利用してきたシンプルさとセキュリティを維持しつつ、クラウドがもたらす利点を取り入れ、強化するべきだと考えています。AWS製品と深く連携することで、複雑なクラウド コネクタやスクリプトを必要とすることなく、高速で信頼性が高く、セキュアなデータの移動が可能になります。また、直感的に操作可能なWebベースのコンソールはAWSに不可欠なデータ管理機能を網羅し、単一のインターフェイスですべてを管理できることにより、ITチームの作業を容易にします。クラウド利用のためにCommvaultでどのようにお客様のデータ準備が行えるのか詳しくご説明します。

Commvault が AWS にあるお客様のデータにどのような価値をもたらすかについての詳細はこちらをご覧ください: [commvault.com/aws](https://commvault.com/aws) >

## ネイティブに連携

Commvault ソリューションは、AWS と深くネイティブに連携されており、オンプレミス環境とクラウド環境にまたがる包括的なデータ管理戦略を可能にします。これらの機能は、Commvault 製品の核となる部分に製品に直接組み込まれており、AWS 全体のデータの保護、移行、管理、利用の基盤となっています。

- GlacierやDeep ArchiveなどのAmazon Simple Storage Service (Amazon S3) に直接データを転送することができます。



S3 Standard  
S3 Standard-IA  
S3 One Zone-IA



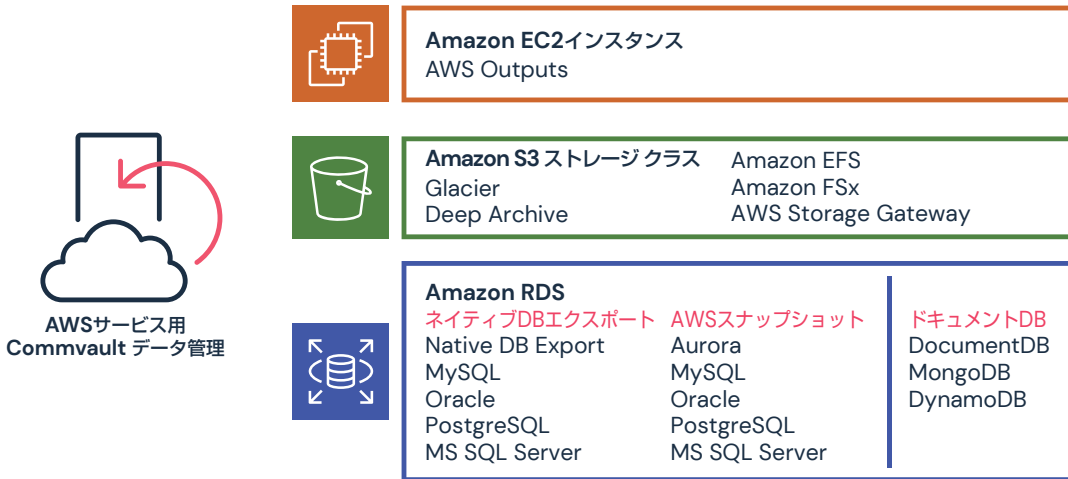
S3 Glacier  
S3 Glacier  
Deep-Archive

- AWS製品とのネイティブなバックアップ/リストアと移行操作については、本ドキュメントの後のセクションでご紹介します。
- IAMとSTSのAssumeRoleアクションを活用したIdentity管理機能により、クラウド リソースへのセキュアなアクセスを自動化します。
- すべてのAWSパブリック リージョン、AWS GovCloud、AWS C2S、AWS SC2Sをサポートします。
- 電源管理の連携により、Commvault インスタンスは必要なときだけオンになり、クラウド コンピュートの費用を大幅に節約します。
- 準拠している業界標準リストはこちらから: [http://documentation.commvault.com/commvault/v11\\_sp20/article?p=110316.htm](http://documentation.commvault.com/commvault/v11_sp20/article?p=110316.htm)

**データがどこにあっても保護する**

AWSのワークロードやデータセットを保護するために、組織は独自のスクリプトを作成して、さまざまなAWSサービス内で利用可能なスナップショットやレプリケーションの方法をオーケストレーションすることがよくあります。しかしながら、AWSの柔軟性と弾力性を利用しながら、このようなスクリプトを維持、監査、拡張することは困難になる可能性があります。また、規制やビジネス プロセスの要件によっては、他のクラウドに存在するバックアップのセカンダリ コピーを作成することも必要になり、複雑さが飛躍的に増します。Commvault は、ネイティブな連携とポリシーベースの自動化により運用全体をシンプルにし、管理上の煩わしさを感じることなく必要なデータ保護を提供します。

- バックアップとリストア操作は、下記の通り、サービスに対してネイティブにサポートされています:

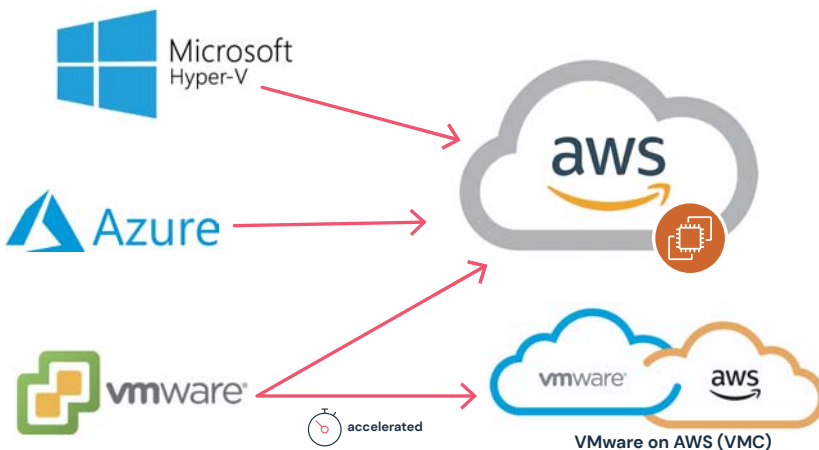


- EC2インスタンス、S3、EFS、Storage Gatewayに対し、ファイルをアイテム単位でリカバリ/リストアすることができます。
- データの重複排除と圧縮でストレージとデータ転送に掛かるコストを削減します。
- Amazon Glacier ポールト ロックを使用したコンプライアンス データのランサムウェア対策と長期保存 (WORM) が可能です。
- Amazon EC2、Amazon Elastic Block Storage (EBS)、Amazon RDSのデータセットのスナップショットを、他のAWSリージョンに簡単にレプリケートし冗長性を確保することができます。

**AWSへの移行を加速させる**

クラウドには柔軟性と拡張性が求められるため、これらの利点を活用し、さらにはその利点を強化するためのデータ管理プラットフォームが必要です。ワークロードが別のクラウド上にあっても、データセンターにあっても、Commvault は AWS への移行を迅速かつ簡単に行います。また、同じ技術を活用しクロスプラットフォーム移行も行えるので、アプリケーションやデータベースの管理方法に比類のない柔軟性を提供します。ここでは、Commvault を利用してクラウドへの移行を加速させる方法について、いくつかのハイライトをご紹介します。

- VMware、Hyper-V、またはAzureの仮想マシン (VM) を、EC2インスタンスへ変換します。



- 従来のインポート/エクスポート (VMIE) 方式と比較して、VMware ESXiからVMware on AWS (VMC) 環境への移行を大幅に高速化します。
- 以下のオプションでデータベース アプリをAmazon EC2およびRDSインスタンスへ移行します。

移行元のデータベースの種類	EC2への移行	RDSへの移行
Oracle	✓	✓
Microsoft SQL Server	✓	✓
MySQL	✓	✓
PostgreSQL	✓	✓

- Oracleデータベースを自動エンディアン変換 (AIX/SolarisからLinuxベースへの変換) します。
- Snowball, Snowball Edge, Snowmobileをサポートし、オフラインでのデータ移行に対応します。重複排除機能を使用してスノーボールにより多くのデータを詰め込むことで、より少ないデータ量でより多くのデータを移行します。

### 必要なときだけクラウドを使ってディザスタ リカバリ

事業継続のためにはディザスタ リカバリが重要ですが、ほとんどの企業はセカンダリ サイトを24時間365日稼働させる費用を払うことはできません。AWS はディザスタ リカバリのワークロードに適しており、データセンターがオフラインの場合でも必要に応じて起動できる弾力性のある環境を提供しています。Commvault ソフトウェアを使うと、管理者定義のポリシー、フェイルオーバー/フェイルバックのためのオーケストレーション、自動テスト、手遅れになる前に脅威を認識するための分析など、複数の階層化されたサービスレベル オプションにより、ディザスタ リカバリがシンプルに行えます。Commvault がクラウドのディザスタ リカバリを簡単に実現するいくつかの方法を下記にご紹介します。

- 完全なシステム リカバリ/テストを、数日単位ではなく数分単位で実行可能です。
- さまざまなサービス レベルに対応したディザスタ リカバリの階層化をポリシーベースで自動化できます。
- オーケストレーション ワークフローにより、人手を介さずに自動でフェイルオーバー/フェイルバックを行うことができます。
- テストの自動化により、災害が発生する前に準備ができていかどうかを確認することができます。
- 徹底した分析により、リスクを測定し、その結果に基づいて管理者に警告を発します。

### ひとつの管理画面からデータを柔軟に操作できる使いやすさ

ソフトウェアベースのソリューションである Commvault は、デプロイの方法に非常に柔軟性があります。お客様のビジネスのニーズに応じて、完全に仮想化し、クラウドベースの保護プラットフォームとして導入することもできます。また、Commvault は、データ管理プラットフォームのあらゆる側面をスケールアウト型のシステムに組み込んだCommvault HyperScale™ テクノロジーによる統合ソリューションも提供しています。

導入後の使い勝手の良さはCommvault の最大の強みです。Commvault Command Center™ は、すべての設定、管理、レポート作成ツールを統合した、Webベースの操作しやすい集中管理インターフェイスです。

- オンプレミス、複数のAWSアカウント、リージョンにまたがるすべてのワークロードの保護管理、監視、レポートを単一の統合されたビューで表示します。
- オンプレミス環境とクラウド環境を横断した検索/eディスカバリ機能 - データの種類に関係なく、ひとつのポータルから必要なものを探し出し、リストアップすることができます。
- シンプルなライセンス モデルにより、企業内のすべてのAWSワークロードをカバーすることができます。



### まとめ

Amazon Web Services は、データとワークロードをホスティングするための信頼性の高いスケーラブルな環境を提供するために利用されています。深く、ネイティブな連携機能を備えた Commvault は、AWS への移行を加速し、包括的なデータ管理プラットフォームを提供することで、オンプレミス環境とクラウド環境の両方のデータを完全にコントロールし続けることができます。Commvault は、データの保護、ビジネス成果の向上のための分析、プラットフォーム間での移行を可能にし、柔軟性を最大限に高めることができます。